

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3148035号
(U3148035)

(45) 発行日 平成21年1月29日(2009.1.29)

(24) 登録日 平成21年1月7日(2009.1.7)

(51) Int. Cl. F 1
 A O 1 K 27/00 (2006.01) A O 1 K 27/00 A
 A O 1 K 29/00 (2006.01) A O 1 K 29/00

評価書の請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 実願2008-7959 (U2008-7959)
 (22) 出願日 平成20年11月13日(2008.11.13)

(73) 実用新案権者 507261700
 渡邊 敏子
 兵庫県尼崎市今福1丁目1番28-508号
 (72) 考案者 渡邊 敏子
 兵庫県尼崎市今福1丁目1番28-508号

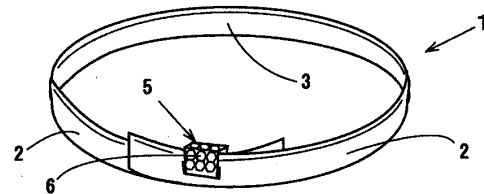
(54) 【考案の名称】 ベルト

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】身体全体の調子を整える効果が得られる無機ゲルマニウムを含有するシート材を十分に利用して、身体に密着させて使用できるようにした、ペットと飼い主用のベルトを提供する。

【解決手段】ベルト素材2と、前記ベルト素材の身体当接側の面に無機ゲルマニウムを含有するシート材3を固定してなるベルト1と、そのベルトの一方の端部と他方の端部をとめる留め具5の身体当接側の面に、無機ゲルマニウムを含有するシート材を固定してベルト本体を構成する。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】

ベルト素材と、前記ベルト素材の身体当接側の面に無機ゲルマニウムを含有するシート材を固定してなるベルト本体と、そのベルト本体の一方の端部と他方の端部を留める留め具からなるベルト。

【請求項2】

前記留め具の身体当接側の面に、無機ゲルマニウムを含有するシート材を固定してなる請求項1記載のベルト。

10

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、無機ゲルマニウムシートの特性を生かしたペットと飼い主の身体などに巻くベルトに関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来は無機ゲルマニウムを使用したペット用首輪などは、粒状の無機ゲルマニウムを金属に貼りつけた高価なものとか、ゲルマニウムの純度の低いものなどであった。

20

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

無機ゲルマニウムは、熱によりマイナス負荷の電子を発するといわれている。金属元素は皮膚に密着させると「電子浸透圧」という金属元素の持つ電子が体内に吸収されるという性質がある。これによりゲルマニウムを皮膚に密着させることでプラスに傾き不調になった体の電流を整え、身体の痛み、特に慢性的な痛みを和らげてくれること、また血流をよくし、副交感神経が活性化してリラククス効果があることは最近よく知られるようになった。これらの効果は人を対象としたものであるが、体温38～39度の犬、猫などその他のペットにおいても、効果は望めるものである。

30

しかし、無機ゲルマニウムは99.999%以上の純度でないとい効果的ではないという考えがある。そういった純度の高いゲルマニウムを焼結したものなどを求めると非常に高価なものになる。

従来は無機ゲルマニウムを使用したペット用首輪は、粒状の無機ゲルマニウムを金属に貼りつけた高価なものとか、ゲルマニウムの純度の低いものなどで、安価で高品質であり身体にピッタリと密着した、飼い主とおそろいで着用できるしゃれたベルトはなかった。

本考案はこれらに対しての問題点を解決するためになされたものである。

【課題を解決するための手段】

【0004】

上記課題を解決するために、請求項1記載の考案にかかるベルトは、ベルト素材に、身体当接側の面に無機ゲルマニウムを含有するシート材を固定してなるベルト本体と、そのベルト本体の一方の端部と他方の端部をとめる留め具からなるベルトであることを特徴とする。

40

【0005】

請求項2の考案は、請求項1記載の考案におけるベルト本体の一方の端部と他方の端部をとめる留め具の身体当接側の面に、無機ゲルマニウムを含有するシート材を固定する留め具であることを特徴とする。

【考案の効果】

【0006】

上記の結果、巻く箇所にピッタリの革・布などの外観を持つ、内側が無機ゲルマニウム

50

のベルトになる。首、手首などのサイズに合わせて留めることのできる留め具は、無機ゲルマニウムが皮膚表面に当たるようになるため、より無機ゲルマニウムの健康に寄与する特長が生かされるものとなる。

また留め具は種類が多く、シンプルな留め具には装飾具としてのカバー類とか、様々なストーン類なども固定できるので、多様なデザインが楽しめる。

【考案を実施するための最良の形態】

【0007】

以下、本考案にかかるベルトの一実施形態について、図面に基づいて詳細に説明する。

革・布などの素材をベルト素材(2)とする。前記ベルト素材の一方の面に無機ゲルマニウムシート素材(3)を固定する。

本考案で使用する無機ゲルマニウムを含有するシート素材は99.999%の無機ゲルマニウムと塗料とを混ぜたものである。比較的安価で耐性の高いものでありながら、切る、縫う、貼る、が可能であるため、よく動くペットにも適している。

【0008】

これら固定したベルト本体(4)をゲルマニウムが皮膚に当たるようにペットの首、腰や、飼い主の手首などに巻く。一方の端部と他方の端部を留め具(5)(7)(9)等で留める。

例えば、挟み込む留め具を利用すると、ベルトのサイズも自由に調節可能となり、ペットの場合どこかに引っ掛けた時など首を絞めることなく体重で外れる。

留め具素材が皮膚表面に当たるのを避けるため、無機ゲルマニウムシート素材(2)を留め具の身体当接側の面に固定する。

留め具はクリップなど事務的なものから、アクセサリ感覚のもの、磁石(8)の付いたもの等色々ある。また留め具には装飾具(6)(10)としてのカバー類、様々なストーン類なども固定できるので、飼い主とおそろいで多様なデザインが楽しめる。

【図面の簡単な説明】

【0009】

【図1】本考案にかかる一実施形態のベルトの斜視図。

【図2】図1に示すベルトの背面斜視図。

【図3】図1に示すベルト本体の斜視図。

【図4】図1に示すベルトの留め具斜視図。

【図5】本考案にかかる一実施形態のベルトの斜視図。

【図6】本考案の使用例を示す説明図。

【図7】本考案にかかる一実施形態のベルトの斜視図。

【図8】図7に示すベルトの背面斜視図。

【図9】図7に示すベルトの留め具斜視図。

【図10】本考案の使用例を示す説明図。

【図11】本考案の使用例を示す説明図。

【符号の説明】

【0010】

- (1) ベルト
- (2) ベルト素材
- (3) 無機ゲルマニウム含有のシート材
- (4) ベルト本体
- (5) 留め具の一例
- (6) 装飾具の一例
- (7) 留め具の一例
- (8) 留め具磁石の一例
- (9) 留め具の一例
- (10) 装飾具の一例
- (11) 留め具の一例

10

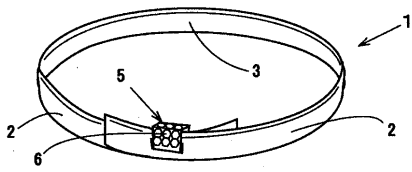
20

30

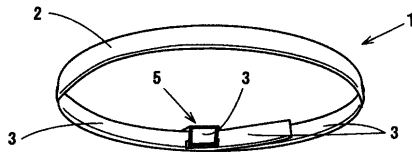
40

50

【 図 1 】



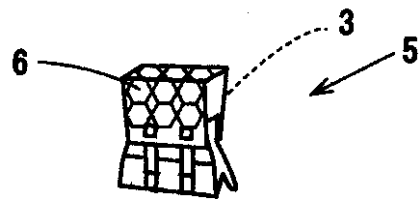
【 図 2 】



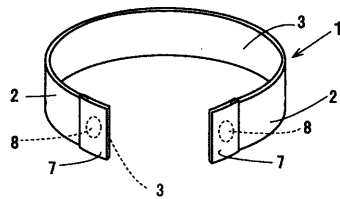
【 図 3 】



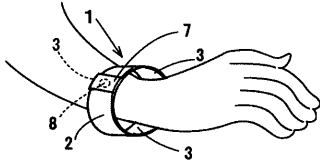
【 図 4 】



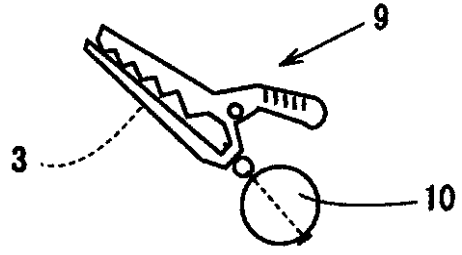
【 図 5 】



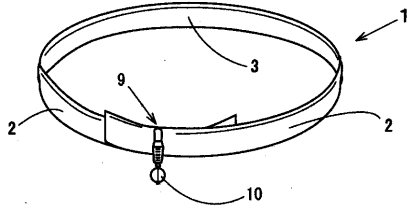
【 図 6 】



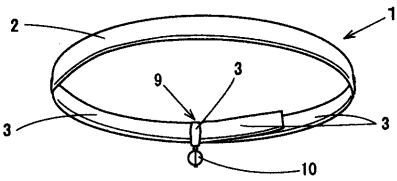
【 図 9 】



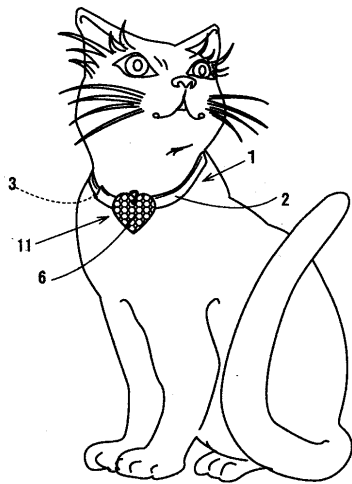
【 図 7 】



【 図 8 】



【 図 10 】



【 図 11 】

